

まちづくりに関する特別委員会 意見交換会報告

令和3年10月29日(金)

去る9月22日開催の白山市公民館連合会との意見交換会について、その概要を報告します。

当日は、白山市公民館連合会の米永会長を初め、役員の方、合わせて11名の出席をいただきました。

今回は、「市民協働で創るまちづくりについて」をテーマとして、意見交換を行いました。その主な内容と意見について述べさせていただきます。

初めに、もっとも多かった意見としては市民協働で創るまちづくりの周知不足についてであります。

この事業が提案されてから3年が経過しますが、市民の理解や意識はあまり高まってはなく、まちづくりの重要性を認識して

もらうよう、より一層の周知を図ってほしいとの意見がありました。

また、委員からは、市民にほとんど伝わっていない理由として、会長が1年で交代してしまう町会が多いことや、コロナ禍であることも関係しているとの話があり、市民への周知徹底が今後の課題だとの意見がありました。

次に、進め方についてですが、町会が進めるべきなのか、公民館が進めるべきなのかが曖昧になっているが、公民館は事務局としての役割を果たすべきで、この事業自体は町会連合会が進めるべきではないかとの意見があり、コミュニティ組織とコミュニティセンター化の方向づけを示してほしいとの声もありました。

一方、委員からは、リーダー的な役割は公民館だと考えており、引き続き努力していただきたいとの要望もありました。

次に、公民館がコミュニティセンター化された場合についてであります。センター化後の形や公民館職員の仕事量が今より

も増えると思われるため、給与面を含めた待遇改善や勤務内容を明確にしてほしいとの意見や、現在の公民館は部屋が狭いため、コミュニティセンター化した場合の場所の確保やパソコンなどの備品はどうなるのかといった不安の声もありました。

また、白山ろくについては既に公民館の中にコミュニティ組織が全部そろっており、新たな組織の必要性について戸惑っているとの話もあり、今後の市民サービスセンターの在り方についても検討してほしいとの意見もありました。

最後に、公民館は残してほしいとの意見に対し、委員からは公民館の機能は残さなければいけないとの説明もありました。

以上、主な意見を述べましたが、ほかにも現在抱えている悩みや進め方についての率直な提案など、多くの意見をいただきました。

市民協働で創るまちづくりは、それぞれ

の地域の活性化や豊かさを感じる地域づくりを行うために進められているものと思っておりますが、まだまだ、市民への周知が不足していることを強く感じました。

今後は令和5年度の一斉スタートに向け、市民への分かりやすい周知を第一に行い、理解が進む中でこの事業をよりよい形で進めていただきたいと思います。

以上で意見交換会の報告を終わります。